

令和7年

4

1

埼玉ゆかりの三偉人の一人、日本初の公許女性医師である荻野吟子の顕彰事業を実施し、関係自治体等とのネットワークづくり、情報発信の強化を図ります。

荻野吟子知名度向上の取組

(担当課 商業観光課)

概要

郷土が生んだ偉人『“日本で最初の公許女性医師”荻野吟子』氏の功績を顕彰し、熊谷市の誇る魅力の一つとして全国に情報発信するとともに、郷土愛の醸成、地域経済の持続的発展、活性化を図ってまいります。

将来的には、吟子ゆかりの自治体、団体などとも連携し、氏が残した功績をさらに広く知っていただくため、いわゆる「朝ドラ」への採用を目指す誘致活動を行いたいと考えます。

関係市町村、団体への事業趣旨説明、協力依頼

- 6月：北海道せたな町長、今金町長表敬（2～3日※市長訪問）
- 7月：深谷市、群馬県千代田町、東京都文京区、墨田区、豊島区
- 9～11月：埼玉県、お茶の水女子大学、滝乃川学園、日本女医会、埼玉県人会、静岡県掛川市、愛知県西尾市、山梨日日新聞
- 1月：千代田町長表敬（16日）、東京都豊島区長表敬（28日※市長訪問）
- 2月：東京都文京区、墨田区（6日※市長訪問）

PR、啓発活動

- 12月：熊谷駅観光案内所で千代田町光恩寺（吟子図柄）絵馬販売 駅
- 1月：市役所ロビーパネル展示、大宮駅コンコースパネル展示
- 2月：荻野吟子グッズ販売開始（熊谷観光案内所）
- 3月：熊谷駅観光案内所『吟子ゆかりの地「せたな、今金」物産フェア』今金町来市、春の駅まつり、八木橋百貨店「春の大北海道展」PR

その他

- 3月：顕彰推進協議会設立（26日）



大宮駅コンコース



八木橋百貨店



今金町

郷土の偉人、国宝・重要文化財を含む、市出土の埴輪や本市ゆかりの数多くの文化財などを活用し、将来を担う子どもたちや市民の郷土愛を育み、郷土への誇りの醸成を図るとともに、本市の魅力としてアピールする地域資源として活かします。

展示品レプリカ作製事業

NEW

(担当課 熊谷図書館)

概要

熊谷直実の家に伝わる国指定重要文化財の「熊谷家文書」255点の中から、熊谷市の歴史に深く関係する、熊谷直実の自筆部分を含む4点の古文書のレプリカを作製しました。

- 直実が息子に土地の相続をした文書
- 熊谷氏が安芸国（広島県）に拠点を移していく原因となった文書
- 熊谷氏と鎌倉の鶴岡八幡宮との関連を示す文書
- 熊谷氏と久下氏との境界争いに関する文書

実績

熊谷図書館郷土資料展示室にて常設展示（四半期ごとに1点ずつ）



熊谷家文書のうち熊谷直実譲状

「友山・武香物語」マンガ制作事業

NEW

(担当課 熊谷図書館)

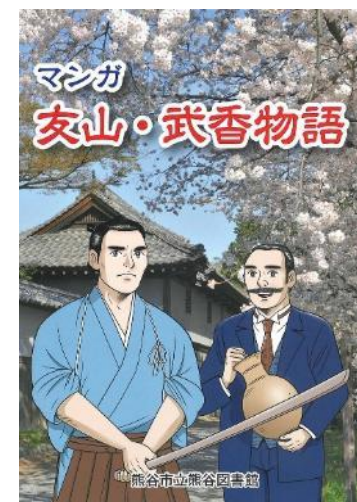
概要

今年度の郷土の偉人マンガシリーズは、幕末から明治にかけて活躍した、大里の根岸友山・武香親子を取り上げました。

尊王攘夷の志士、そして塾を開き、剣道場を造るなど文武両道の父・友山と、貴族院議員の政治家、そして地域の文化財を収集・保存した好古家として全国的に活躍した息子・武香の事績を10のエピソードにまとめ、子どもから大人までが親しみやすく学べる、マンガとして編集・刊行しました。

実績

市内小・中学生全員に配布、一般向け500円で有償頒布



郷土の偉人、国宝・重要文化財を含む、市出土の埴輪や本市ゆかりの数多くの文化財などを活用し、将来を担う子どもたちや市民の郷土愛を育み、郷土への誇りの醸成を図るとともに、本市の魅力としてアピールする地域資源として活かします。



「踊る埴輪」知名度アップ事業

RENEWAL!

(担当課 社会教育課)

概要

全国的に有名ではありますが、唯一熊谷市の出土であるとの認知度が低い「踊る埴輪」について、「踊る埴輪」＝「熊谷市」のイメージ定着を狙い、樹脂製ミニチュアフィギュアづくりの楽しい体験を実施しています。併せて、「踊る埴輪」について詳しく解説するリーフレットの作成・配布及び「踊る埴輪」を出土した野原古墳の「御墳印」を作成・販売しています。

実績

- 「踊る埴輪」樹脂製ミニチュアフィギュアづくり体験
 県民の日文化財イベント「あなたも古代人」にて 参加者：計4回、20名
- 「行田古墳フェスティバル」・ミニチュアフィギュア色付け体験 参加者：20組
- 「踊る埴輪」解説リーフレット作成 1,000部
- 「踊る埴輪」出土の野原古墳「御墳印」作成 250部（2枚1組）、1部300円で有償頒布



「踊る埴輪」樹脂製ミニチュアフィギュアづくり体験



「踊る埴輪」出土の野原古墳「御墳印」

令和7年

4

3

スポーツAIカメラの活用促進などを通して、
 スポーツを「する」だけでなく「みる」、「ささえる」機会の充実を図ります。

スポーツAIカメラの活用促進



(担当課 スポーツタウン推進課)

概要

熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」人工芝グラウンドにAIカメラを設置しました。サッカーやラグビーなどの試合・練習模様を競技ごとの特性を理解したAIが自動で映像化します。くまぴあチャンネルでライブ・アーカイブ視聴もでき、ダウンロードが可能ですので、分析ソフトでの活用にも便利です。

実績

- 実証期間（令和7年2月から9月まで）

利用件数 74件

- 実装開始
 （令和7年10月から令和8年3月まで）

利用件数 43件

POINT!

産学官連携による映像分析を用いた地域スポーツ活性化の取組として評価され、スポーツ庁が主催する「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰（スポまち！表彰）2025」を受賞しました。

せっかく
くまぴあを利用するなら！


AIカメラで撮影配信しませんか？

※利用体験期間は2025年9月30日までを予定

- AIカメラが **自動でカメラワーク**して映像を作成！
- コート全体を写す**パノラマ映像**も作成。**コーチングでの活用**にも便利！
- 限定公開** WEB視聴プレイヤーで安心。関係者へのシェアも簡単！

撮影対象スポーツ

▶ サッカー / ラグビー等



実際の映像はこちら▶





くまぴあに設置したAIカメラで自動撮影

体験学習推進事業

(担当課 学校教育課)

概要

市内すべての小学校で、以下の体験活動を行い、児童の郷土愛や豊かな心を育てています。

- 3年生 五家宝づくりの実演を見学
- 4年生 和太鼓の演奏体験
- 5年生 箏の演奏体験

どの体験活動も、市内の専門家による指導のもと、楽しく充実したものになりました。
この活動をとおして、子供たちの熊谷への愛着や日本の伝統文化への興味が深まりました。



熊谷うちわ祭を始めとする伝統行事等への支援を行い、郷土愛の醸成と観光客の誘致を進めます。

「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業

(担当課 商業観光課)

概要

「まつりのまち熊谷」には、伝統行事（熊谷うちわ祭等）やイベント（さくら祭、花火大会等）など、多くのお客様が訪れます。おまつりを通じて地域の一体感・郷土愛の醸成を図ってまいります。

観光協会が支援する伝統行事等の運営を補助し、観光客の誘致及び交流人口の増加を図ります。

実績

令和7年度補助額 72,660千円



熊谷うちわ祭



熊谷さくら祭



熊谷花火大会

令和7年

4

6

幅広い世代へ学習する機会を提供するため、
生涯学習や文化芸術活動への支援を行います。

市民の自主的、自発的な文化活動へ支援を行い、日頃の活動の成果発表の場を創出し、文化芸術に触れる機会を提供しています。

文化振興基金助成金 (担当課 社会教育課)

概要 市民の自主的、自発的な文化活動を支援する目的で設立された文化振興基金を活用し、文化団体もしくは芸術家の事業に対して助成金を交付します。

実績 交付件数 4件
助成金額 合計 637,000円

社会教育関係団体補助金 (担当課 社会教育課)

概要 熊谷市文化連合、熊谷市音楽連絡協議会、熊谷市美術家協会等の社会関係団体を実施する事業に対して補助金を交付します。

実績 交付件数 6件
補助金額 合計 3,617,635円



令和7年

4

7

スポーツ熱中都市宣言のまちとして、埼玉パナソニックワイルドナイツなど、市内で活躍するプロスポーツチーム等と連携したまちづくりを推進します。

概要

本市にはラグビーリーグワンの埼玉パナソニックワイルドナイツ、野球BCリーグの埼玉武蔵ヒートベアーズ、サッカーWEリーグのちふれASエルフェン埼玉、女子ラグビークラブチームのアルカス熊谷があり、本市を本拠地として活動しています。これらのチームを市民とともに応援することで、盛り上げや新たな賑わいの創出、市民のスポーツ振興につなげていきます。

(担当課 スポーツタウン推進課)

実績

観客数

埼玉パナソニックワイルドナイツホームゲーム観客数	9試合	平均 9,612人
埼玉武蔵ヒートベアーズホームゲーム観客数	17試合	平均 241人
ちふれASエルフェン埼玉ホームゲーム観客数	10試合	平均 1,268人

PR・啓発活動

駅や各チームの本拠地にバナーやのぼり旗の設置、市の広報媒体による告知、選手との試合告知活動、サッカー教室の援助、リーグワンプレーオフのバスツアー、ファン交流イベント等を実施しました。

熊谷市誕生20周年記念

各チームの熊谷市誕生20周年記念を冠した試合を実施し、試合前のグラウンドでのキャッチボール体験、熊谷ラグビー場での初の女子サッカー公式戦の開催、市とチームのコラボグッズの配布など、集客に努めました。



熊谷スポーツコミッションによる大規模大会の誘致や
 (一社)熊谷市観光協会とも連携したスポーツツーリズムの推進等により、
 集客とまちの活性化を図ります。



地域の活性化のため、大規模スポーツ大会の誘致による交流人口及び関係人口の拡大を促進し、市内での消費につなげます。そのため、熊谷スポーツコミッションが窓口となり、大規模スポーツ大会等の誘致に取り組み、スポーツを通じた交流人口の拡大を図るスポーツツーリズムを推進します。



スポーツ大会等開催助成金

(担当課 スポーツタウン推進課)

概要 市内にスポーツ施設が充実している優位性を生かし、大規模スポーツ大会及びイベントを積極的に誘致するため、大会の運営支援として規模に応じて50,000円から最大500,000円の助成金の交付を行いました。

実績 スポーツ大会の誘致・支援 (助成金あり) 全国規模3大会、関東規模4大会
 (助成金なし) 関東規模6大会



スポーツ合宿助成金

(担当課 スポーツタウン推進課)

概要 市内にはスポーツ施設や合宿等のニーズに対応できる施設が整っていることから、その優位性を生かし、市外からのスポーツ合宿の誘致促進を図るため、18,000円の助成金の交付を行いました。

実績 スポーツ合宿の誘致・支援 2件

令和7年

4

9

熊谷スポーツ文化公園の活性化を目指し、アクセス向上などの課題解決に努めます。

概要

熊谷スポーツ文化公園への交通手段を確保していくため、路線バス運行事業者へ運行継続のための補助を実施しています。また、アクセス向上のため、新たな技術を用いたモビリティサービスの調査、検討を行っていきます。

総合交通体系整備促進事業

(担当課 企画課)

- 熊谷市と行田市を結ぶ幹線交通として重要な役割を担っている熊谷駅・犬塚線路線バスについて、運行維持のため両市で構成する協議会から補助金を交付しました。（当市負担1,674千円）
- 地域公共交通物価高騰等対策として、熊谷駅・犬塚線及び熊谷駅・葛和田線の運行事業者である国際十王交通株式会社へ、路線バス全体として1,560千円を交付しました。
- 国際十王交通株式会社と協議の上、イベント時における臨時バスの発着時の効率化を図り、輸送力を向上させました。

